

「日韓の歴史問題」をどう伝えるか・第1回研究会：学校教育の実践と課題

● 開催趣旨

日韓の市民は、今日、様々な分野で交流を深めています。若い学生たちは、ドラマや音楽などの共通の話題で盛り上がり、国籍・民族の壁を感じさせない関係を築いてもいます。

とは言え、依然として、「歴史問題」に起因する「わだかまり」は完全に解消されたわけではありません。学校教育では植民地支配の話はなるべく触れないですませる、様々な日韓の市民交流の場でもその話はしないようにする、という傾向も見られます。しかし、歴史問題の葛藤の激化を予防し、より深い市民間の相互理解を作り出していくためには、史実を知り、考えることが重要となります。

このことをふまえ、韓国学研究センターでは、今年度、市民社会や学校教育で「日韓の歴史問題」をどう語り、学んでいくべきかについて議論する研究会を開催していきます。第1回では、学校教育で、長年、中学・高校・大学の教壇に立たれてきた小川輝光氏をお招きし、韓国や在日コリアンとの歴史交流に基づいた教育実践の紹介と、今夏発売予定の日中韓三国共同歴史編纂委員会『新・未来をひらく歴史』（高文研）を活用した歴史対話の模索についての報告をうかがいます。そのうえで、参加者とともに、学校教育での「日韓の歴史問題」の課題について考えていく予定です。

● 講師：小川輝光（都留文科大学准教授）

報告「学校でどのように日韓歴史対話を進めるか—「歴史問題」をタブー視しないために—」

コーディネーター：竹田和夫（新潟大学講師、高校教員）

● 日時：2025年8月1日（金）14:00～16:30

会場：東京大学駒場キャンパス 18号館 4階コラボレーションルーム 1 （要・事前登録）

● 言語：日本語（通訳なし）

● 参加費無料、ただし7月28日（月）までに**事前登録**が必要です。下記のウェブフォームまたはメールでの登録をお願いいたします。対面参加については40名までとなります。

終了後に懇親会（軽食・お茶などの飲料を準備）を予定しています。

オンライン参加登録者には開催日までに、事務局よりメールで当日の URL をお知らせします。



・事前参加登録はこちらから→ <https://forms.gle/mVxDFtX8fyx3Q8eYA>

・お問い合わせ cks@iags-cks.c.u-tokyo.ac.jp（東京大学韓国学研究センター事務局）

主催 東京大学韓国学研究センター

後援 韓国国際交流財団

KOREA **KF**
FOUNDATION

한국국제교류재단